

“ビートルズ英語読解ガイド” が他書に及ぼした影響

ビートルズ英語読解ガイド（増補版） ＜2012年9月発行＞ の記述	某文庫本 ＜2015年4月発行＞ 酷似部分
裏にあるのは、‘もう立派な女’ という思惑である。 <p. 15>	p. 15
<i>Love me, do.</i> は、肯定命令文 <i>Love me.</i> に、動詞を強調するための助動詞 <i>do</i> が付いたもの。つまり、「愛してよ、ねえ」という意味である。 <i>Do love me.</i> という構文も可能〔中略〕 <i>I'll always be true.</i> (いつも誠実でいるよ) では「忠実な」という意味。男女関係においては「浮気をしない」ことを指す。 <p. 8>	p. 23
家もしくは故郷に残してきた妻なり恋人なりを想う手紙調の歌になっている。 <p. 9>	p. 25
リンゴ・スターがドラムを叩きながら歌えるようにと、シンプルな曲構成と簡単な歌詞になっている。 <p. 40>	p. 47
出だしの <i>I've got something to say that might cause you pain.</i> (おまえは厭がるかもしれないが、言わなきゃならないことがある) <p. 49>	p. 68
一般的に『ぼくが泣く』から受ける印象は、他の人の代りに泣くということではないだろうか。しかし <i>I'll cry instead.</i> の <i>instead</i> が指すのは、動作主ではなくて、動作である。よって、この文には「そうできないから、今は泣くだけさ」というような日本語が当てはまる。 <p. 62>	p. 65
当時(1964～65年) ロンドンの若者たちの間で人気があった木製の家具のことだそうだ。 <p. 104>	p. 117
<give somebody a chance> は、「…にチャンスを与える」。 <i>Give the word a chance to say that the word is just the way.</i> は「その言葉こそが手立てであることを示す機会を、その言葉に与えよう」。 <p. 111>	p. 121
雨と裂け目は、自由な創造的思考を妨げるものとして歌われている。 <p. 159>	p. 160

“ビートルズ作品読解ガイド” が他書に及ぼした影響

ビートルズ作品読解ガイド（増補版） ＜2013年2月発行＞ の記述	某文庫本 ＜2015年4月発行＞ 酷似部分
欧米のホテルの多くでは、客室に聖書を備えている。日本のビジネスホテルでも、備えているところもある。この聖書は国際ギデオン協会 (Gideons International) が寄贈しているもので <p. 62>	p. 206
しかし私にはそのように思えない。私は、このナンバーはマッカートニーとレノンのリヴァプールとハンブルクにおける思い出と、マッカートニーからレノンへの別れのメッセージを歌ったものではないか、と推察している。思い出の部分については、レノンは歌詞の意味を理解していたと思う。楽しそうにマッカートニーとハーモニーで歌うレノンを映画 LET IT BE で見ると、そう思わざるをえない。 <p. 93>	p. 263
ミドルの歌詞を読むと、この曲はポールとリンダのことを歌ったものではないことがさらに明らかである。 <i>You and I have memories longer than the road that stretches out ahead.</i> (君と僕には、前方に伸びる道よりも長い思い出がある) は未来志向ではない。 <p. 95>	
the one after 909 は「運行番号909の次の列車」とも「9時9分発の列車の次の列車」とも考えられる。 <p. 106>	p. 273
(僕は概して楽天的ですけど、いろいろ厭な事が起きて、楽天的になれない時もあります。これを書いたのがそんな時でした。僕たちはLSDと麻薬漬けで、そこにクラインの馬鹿げたことが続いて、もうむちゃくちゃになっていました。この圧迫にずっと耐えるぞ！ という意味で書いたのです)。 <p. 137>	p. 256

ビートルズ作品読解ガイド（初版） ＜2008年1月発行＞ の記述	某ムック ＜2008年11月発行＞ 酷似部分
テーマは、易経に関連したことではなく、人々が愛情のある行動を行っていないこと、そして墮落していることを嘆いています。〔中略〕 floor は、「床」というだけでなく、住人を集散的に表したものでしょう。この言葉を用いたのは、sleeping との押韻で使う sweeping (掃くこと) と噛み合うからと考えられます。よって、この文が言わんとするのは、「他の人たちを見ても、汚れのない状態ではないことが分かる」ということとなります。 <p. 39-40>	p. 37
欧米のホテルの多くでは、客室に聖書を備えています。日本のビジネスホテルでも、備えているところもあります。この聖書は国際ギデオン協会 (Gideons International) が寄贈しているもので <p. 49>	p. 46